

国立がん研究センターの 平成24年度の主な取り組み



独立行政法人国立がん研究センター理事長 堀田知光

All Activities for Cancer Patients

職員の全ての活動はがん患者の為に！

国立がん研究センターの使命・役割

■理念

- 世界最高の医療と研究を行う
- 患者視点で政策立案を行う

■使命

1. がんの解明と発症予防
2. 高度先駆的医療の推進
3. 標準医療の普及
4. 情報の収集と提供
5. 人材の育成
6. 政策提言
7. 国際貢献

All Activities for Cancer Patients 職員の全ての活動はがん患者のために！



シンボルマークの内側の3つの輪は理念に基づき「臨床・研究・教育」を表しています。
外側の大きな輪は「患者・国民の協力を意味します。」

■NCCに期待されている役割

○国の医療政策と一体となったがん医療・がん研究の推進

- ・国の医療政策を実現するために必ずしも採算性が高いとは言えない事業を含め、わが国のがん医療とがん研究を国と一体となって着実に推進

○世界最先端のがん医療・がん研究の推進

- ・高度先駆的ながん医療を行うとともに、新たながん予防・診断・治療法の開発と、それにつながる基礎研究と臨床への橋渡し研究（トランスレーショナル・リサーチ）を推進し、その成果をわが国はもとより世界に広く発信

厚生労働省

連携

がん
地域
登録

地方自治体

情報収集

連携

民間企業・NPO



国立がん研究センター

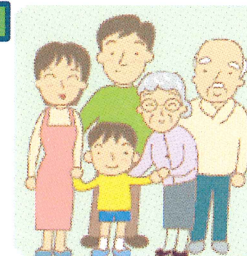
がん対策情報センター

データ収集・情報発信・均てん化支援

意見・要望

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会

全国がん(成人病)
センター協議会



患者・市民
パネル

都道府県がん診療連携拠点病院 51カ所

ブロック別情報提供・
相談支援フォーラム

九州・沖縄
北関東・信越

研修

地域がん診療連携拠点病院 346カ所

医師、看護師、薬剤師
相談員、がん登録実務者
など

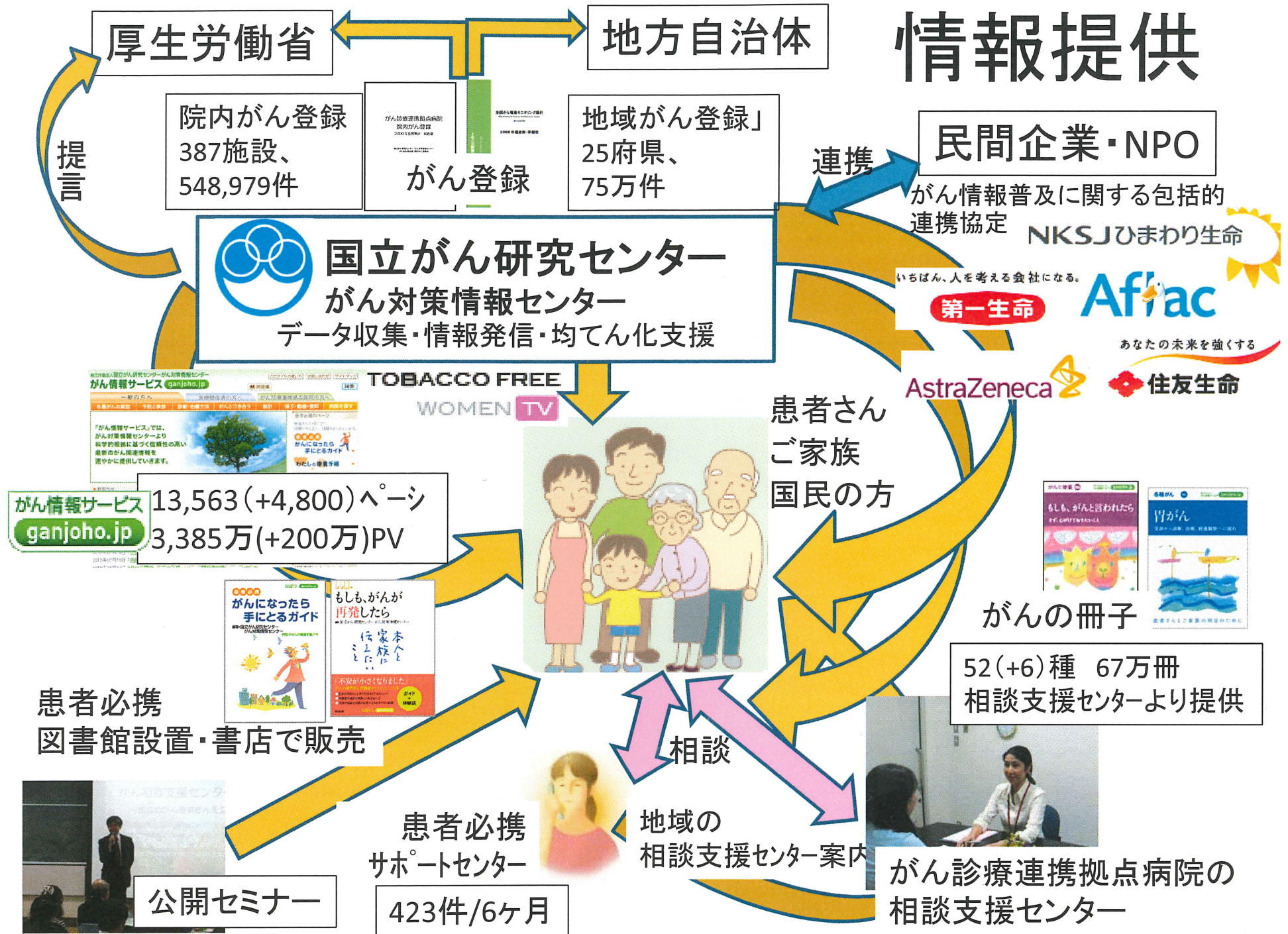
指導者研修 23コース、34回実施、808人
基礎・中級者研修 10コース、40回実施、4,202人

病理コンサル 450件、画像診断コンサル 91件
院内がん登録支援

支援

院内がん登録データ

情報提供

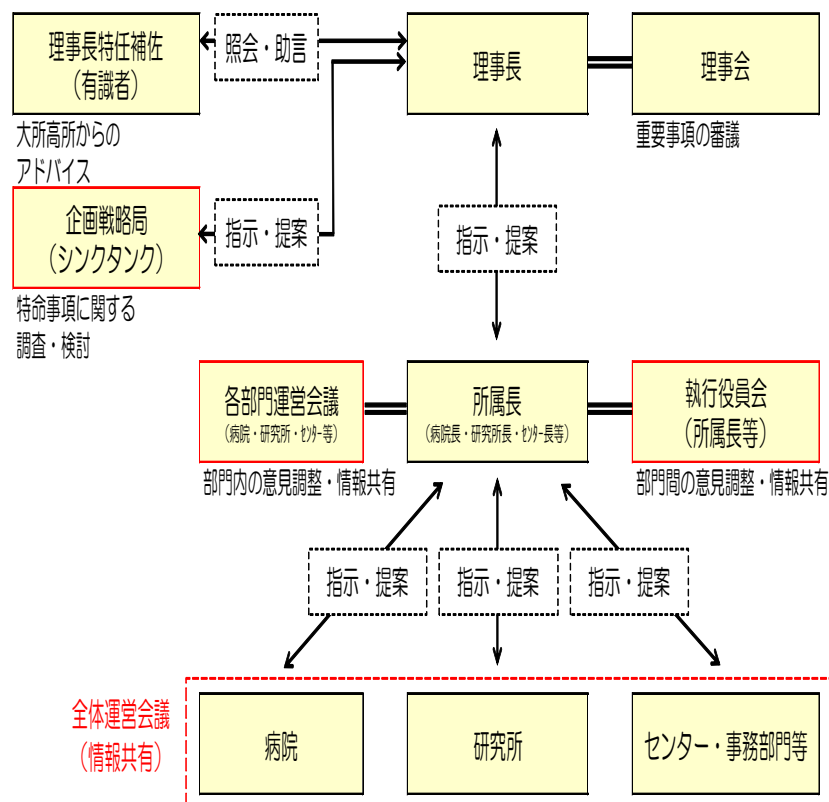


平成24年度の主な組織改正について

○理事長のリーダーシップを前提に、現場の意見を反映できる運営体制を構築

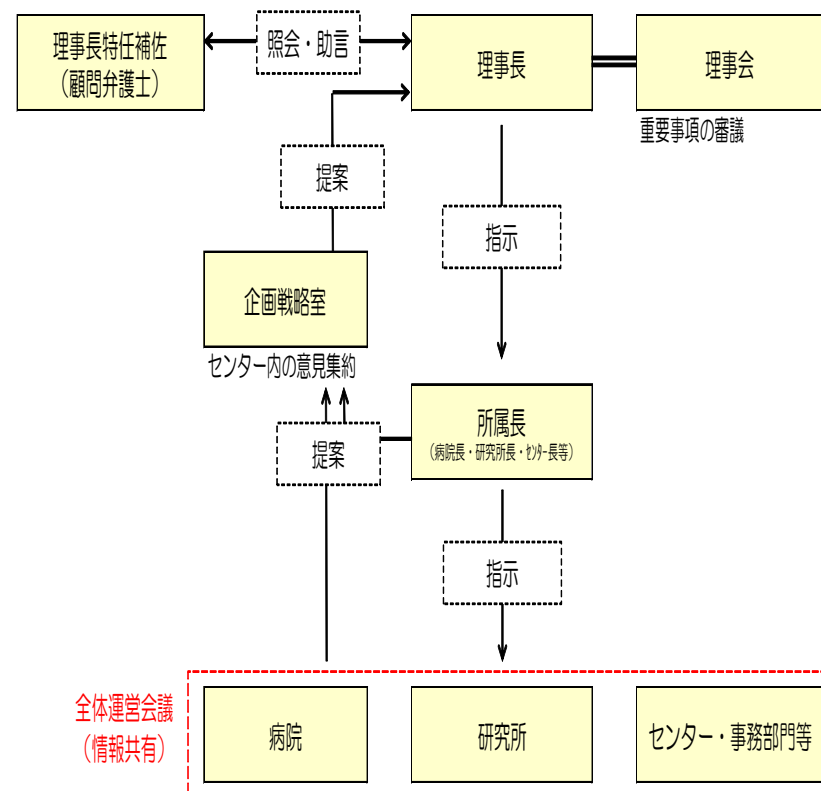
- ・ 執行役員会を設置するとともに、各部門の運営会議の機能強化を図ることにより、部門間及び部門内の意見調整・情報共有を推進
- ・ 企画戦略局を設置し、特命事項に関する調査・検討を行うシンクタンク機能を付与

新体制



※法人全体、築地地区及び柏地区に区分して実施し、会議の効率化を図る。

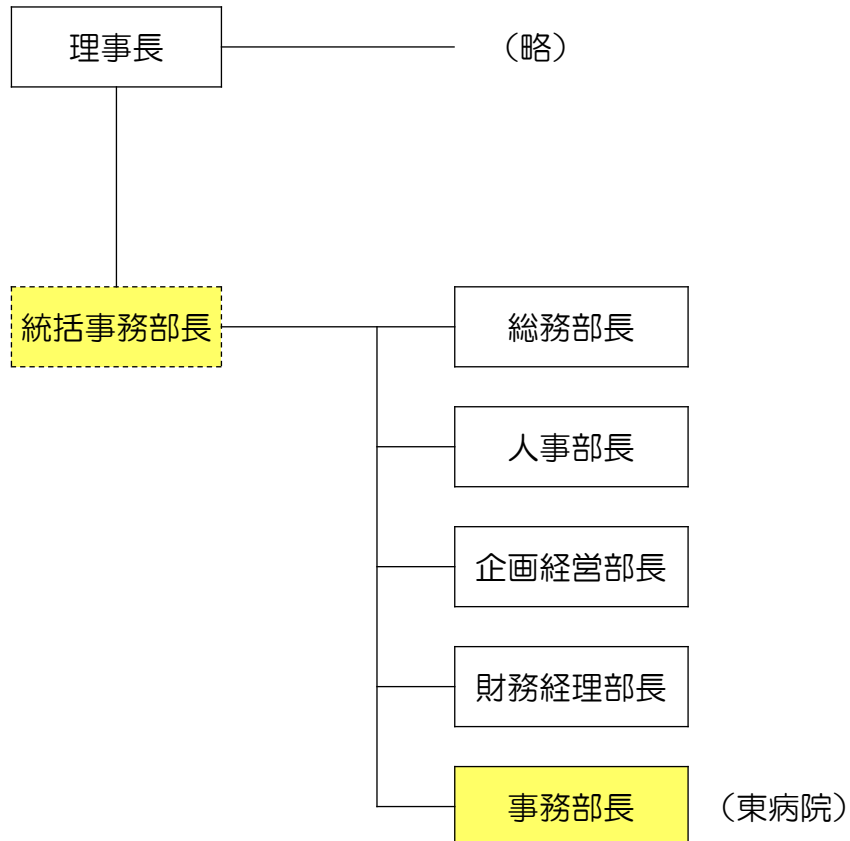
旧体制



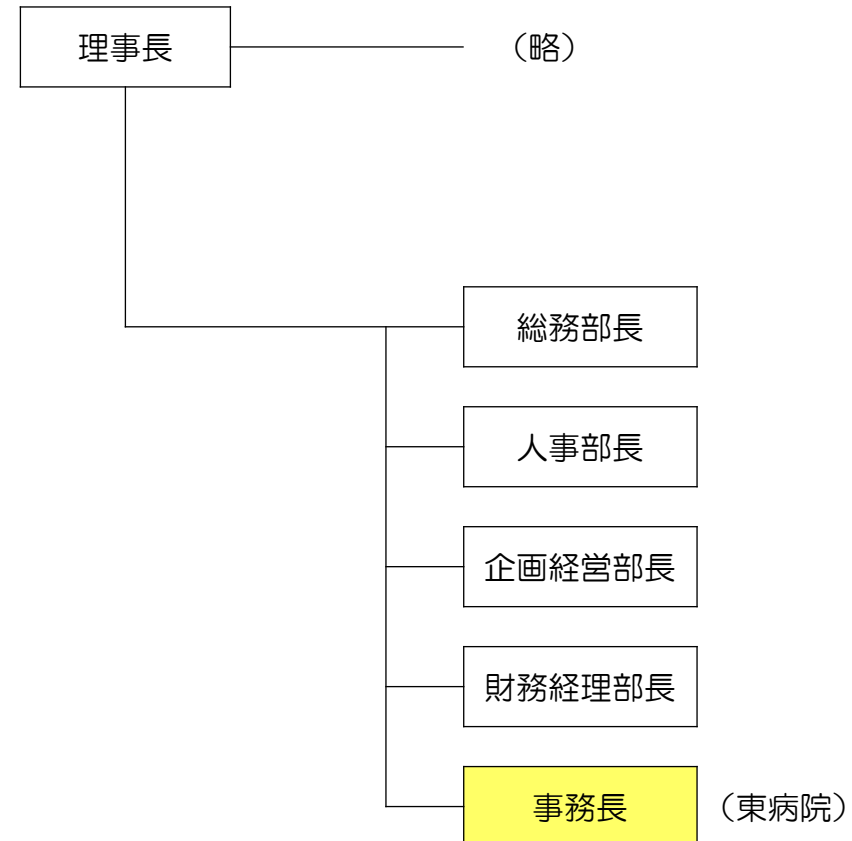
事務部門の組織改革

統括事務部長・東病院事務部長のポストを導入
⇒ラインの権限と責任の明確化を図る

(H24.6.1改正後)



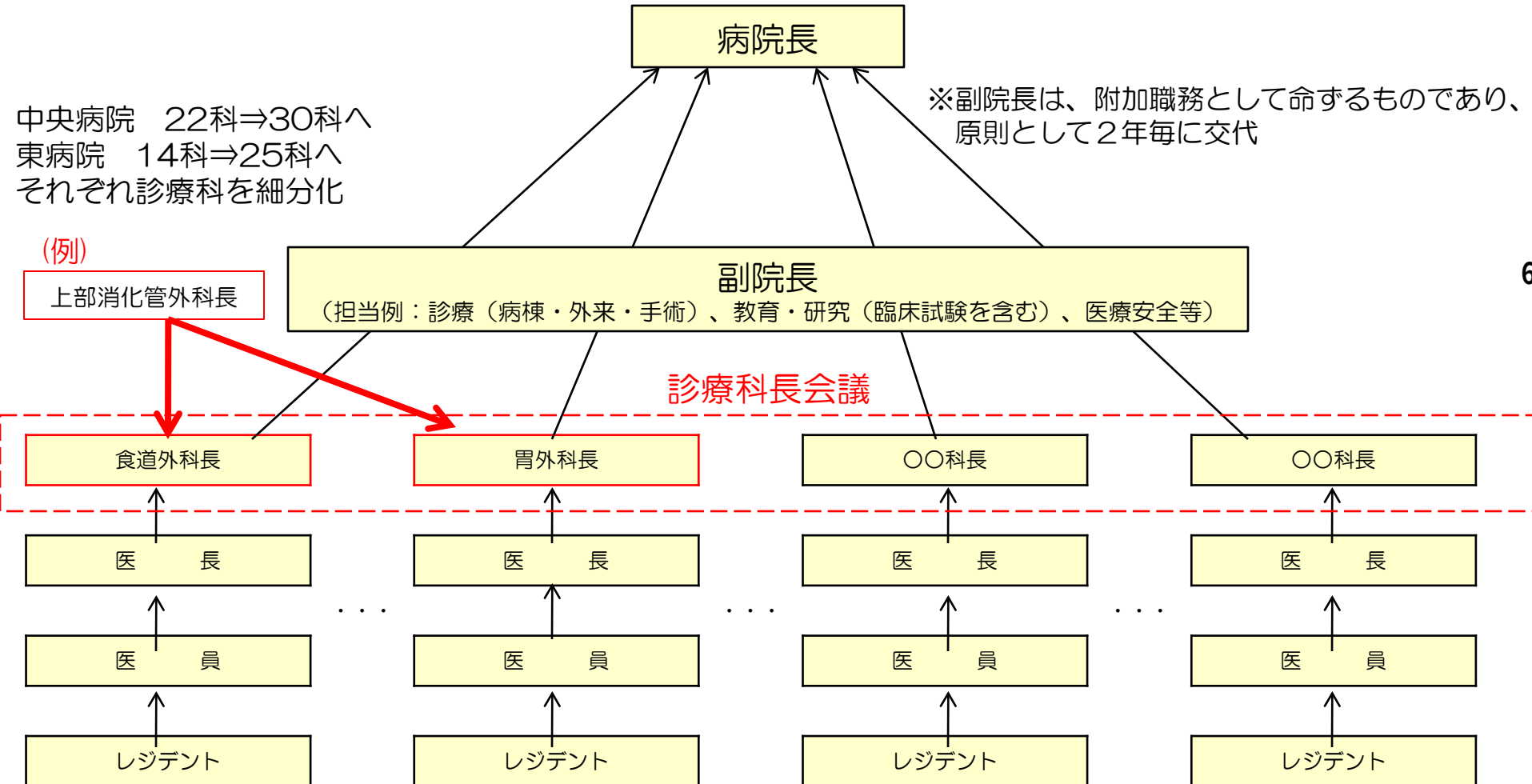
(H24.6.1改正前)



診療部門の組織改革

(改革のポイント)

- ①病院の活性化を図るため、副院長に若手を登用 ※副院長は原則として2年毎に交替
- ②診療科長会議(内科系・外科系等)の設置による診療技術の向上・診療科間の調整
- ③診療科の再編(専門分野の明確化及び細分化)



平成25年4月の主な組織改正について

高度先駆的ながん医療の開発およびがん患者やその家族の方々の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上を目指し、わが国のがん対策を総合的かつ計画的に推し進めるため、以下の組織改正を実施する。

早期・探索臨床研究センター

○早期・探索臨床研究センターの機能強化のため、「先端医療科」、「トランスレーショナルリサーチ分野」、「臨床試験支援室」、「先端医療開発支援室」を設置

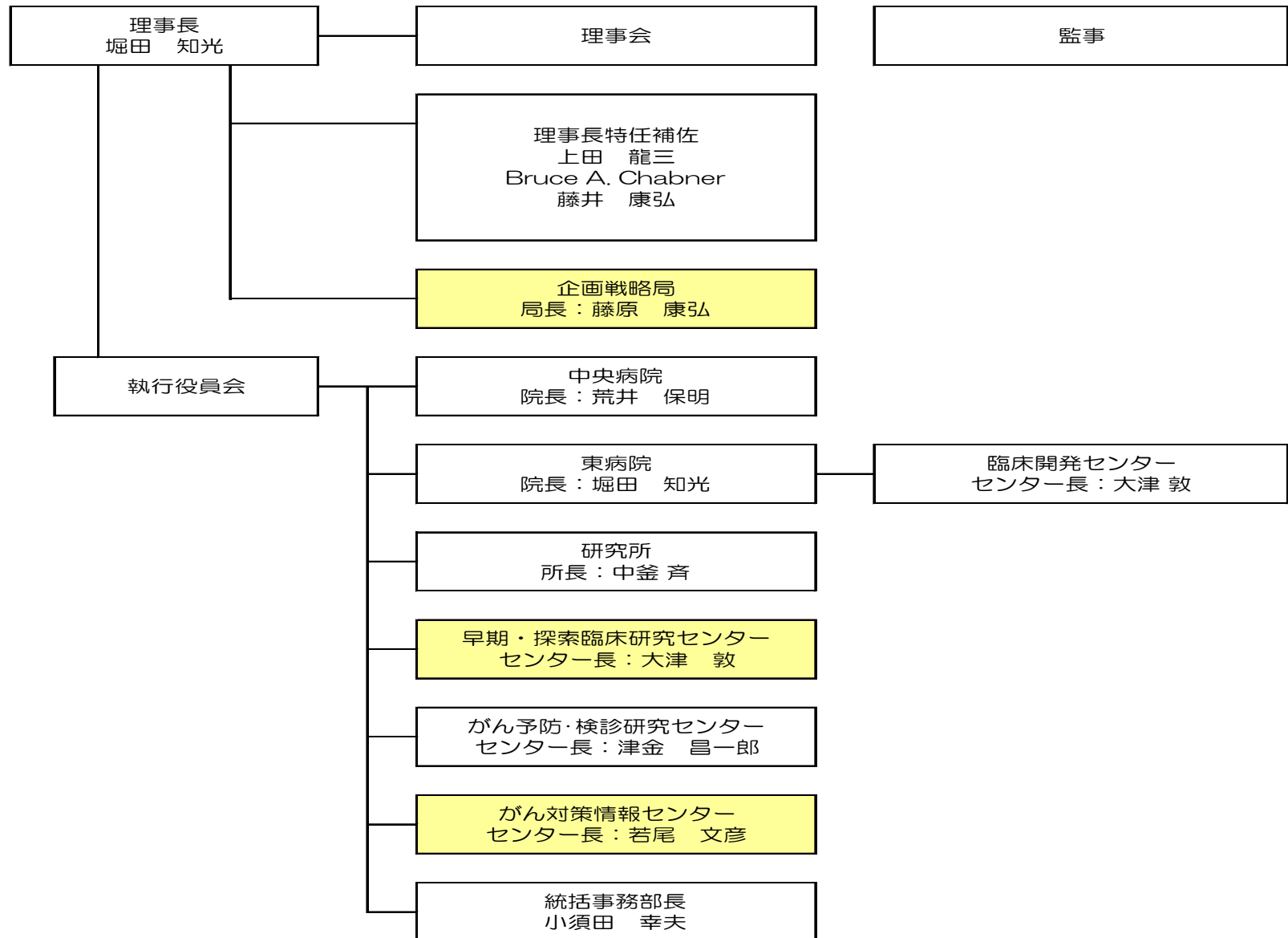
企画戦略局

○企画戦略局の機能強化のため「政策室」を設置するとともに、「広報企画室」、「国際戦略室」を事務部門から移管

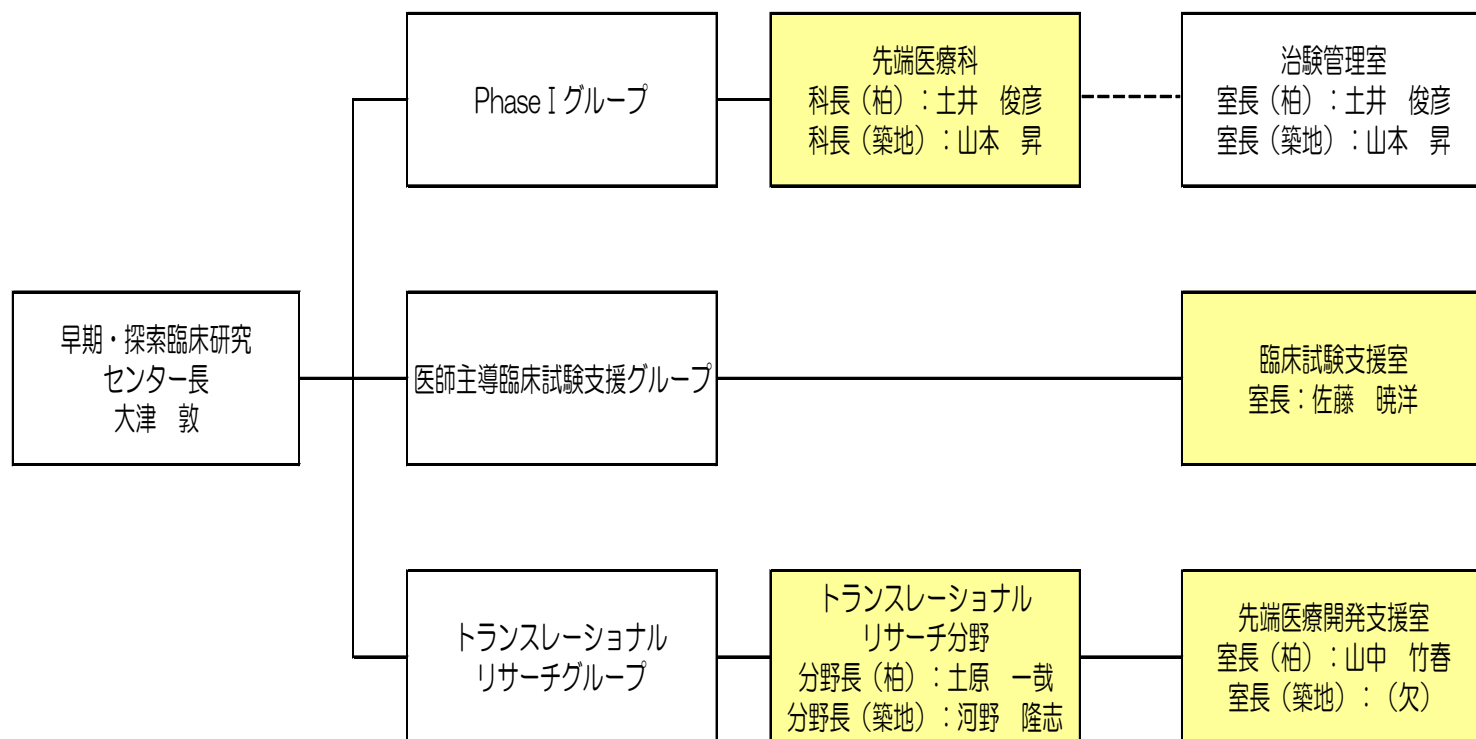
がん対策情報センター

○がん対策情報センターの機能強化ため、「がんサバイバーシップ支援研究部」、「がん政策科学研究部」を設置

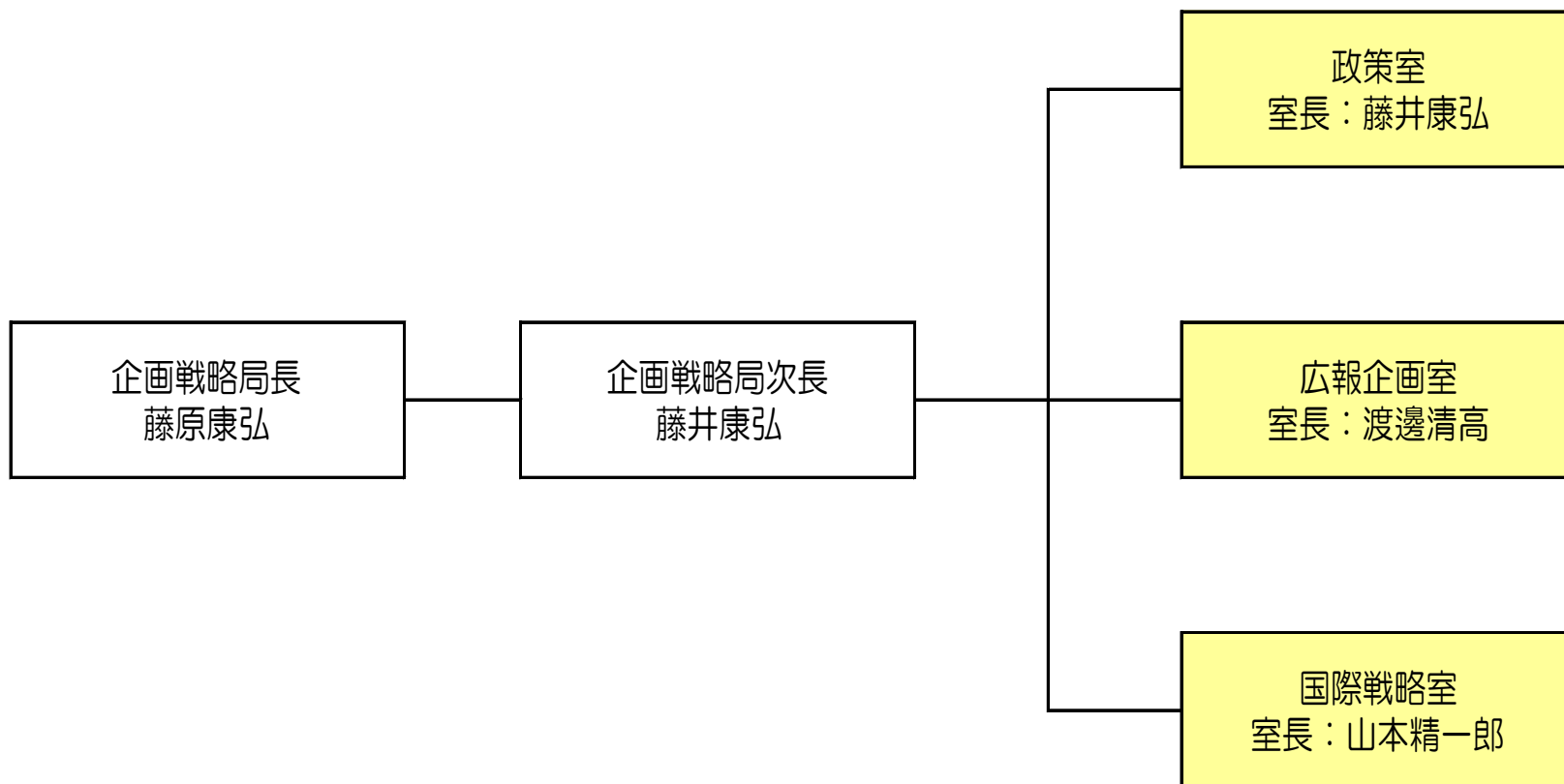
国立がん研究センター組織図



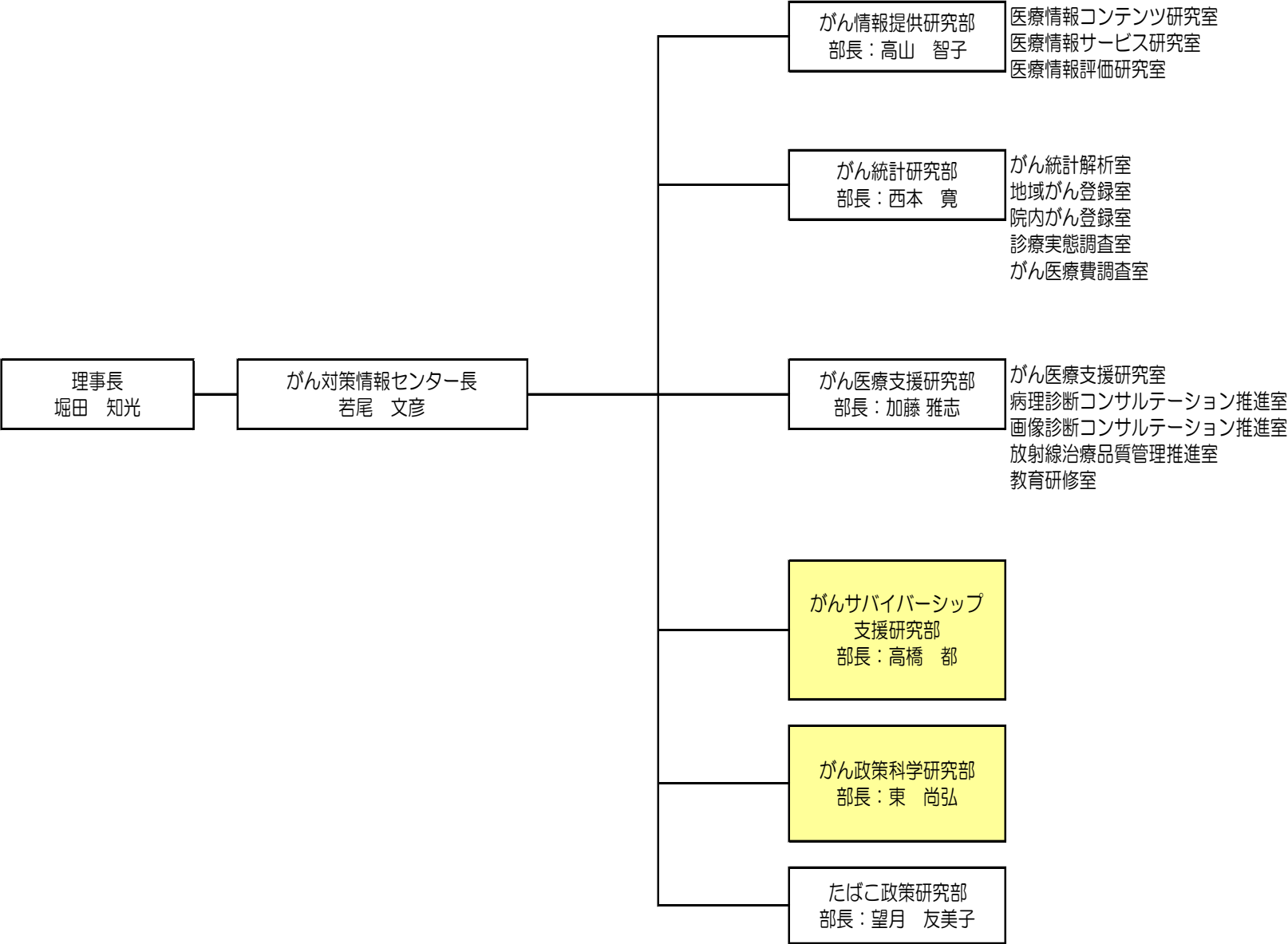
早期・探索臨床研究センター組織図



企画戦略局組織図



がん対策情報センター組織図



総人件費改革への対応（事務職員の削減）

行革推進法の規定による5%の総人件費削減が未達成であるとして、厚生労働省及び行革関係機関より適切な取り組みを行うよう要請されていることから、平成24年度に事務職の削減に取り組んだ。

○常勤職員数の推移

（単位：人）

区分	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末
事務職	68	83	80	56

12

○常勤職員数の増減内訳

（単位：人）

区分	22年度	23年度	24年度
事務職	15	△3	△24

- ・ 任期付職員の退職 △15
- ・ 専門技術職基本給表への振替 △6
- ・ 転出等 △3

シンポジウム「今後の国立がん研究センターのあり方を考える」の実施

【目的】

国立がん研究センターの今後のあり方に関して広く各界の意見を聞き、職員それぞれの立場において今後センターが担うべき役割、それぞれの職種がセンターの中で担う役割を考えるきっかけとするとともに、シンポジウムでの議論を踏まえ企画戦略局において「国立がん研究センターの今後のあり方」について検討をすすめる。

第1回シンポジウム

日時：平成24年12月26日 18:20~20:30

場所：国際研究交流会館3階 国際会議場

シンポジスト

NPO法人グループ・ネクサス理事長 天野 慎介

財団法人日本対がん協会常務理事 関原 健夫

経済同友会代表幹事

/武田薬品工業株式会社代表取締役社長 長谷川閑史

がん研究会有明病院院長 門田 守人

九州大学院医学研究院教授 中西 洋一

日本臨床腫瘍学会(JSMO)特別顧問 西條 長宏

プログラム

○趣旨説明

○シンポジストによるプレゼンテーション

○パネルディスカッション

参加者：国立がん研究センター職員620名



「今後の国立がん研究センターのあり方」とりまとめスケジュール

1回目 平成24年12月26日（水）

天野 慎介先生 NPO法人グループ・ネクサス理事長
関原 健夫先生 財団法人日本対がん協会常務理事
長谷川 閑史先生 経済同友会代表幹事／武田薬品工業株式会社代表取締役社長
門田 守人先生 がん研究会有明病院院長
中西 洋一先生 九州大学大学院医学研究院教授
西條 長宏先生 日本臨床腫瘍学会（JSMO）特別顧問

2回目 平成25年4月15日（月）【テーマ：NCCが担うべき診療・人材育成】

武藤 学先生 京都大学大学院医学研究科腫瘍薬物治療学講座教授
加賀美 芳和先生 昭和大学医学部放射線医学講座放射線治療学部門教授
國頭 英夫先生 三井記念病院呼吸器内科科長
佐野 武先生 がん研究会有明病院消化器外科部長

3回目 平成25年6月24日（月）【テーマ：NCCに期待する研究】

宮園 浩平先生 東京大学大学院医学系研究科 研究科長・医学部長
間野 博行先生 東京大学大学院医学系研究科細胞情報学分野 教授
松尾 恵太郎先生 愛知県がんセンター研究所疫学・予防部がん疫学研究室 室長
祖父江 友孝先生 大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学講座環境医学 教授

4回目 平成25年7月26日（金）【テーマ：海外から見たNCCの役割・期待】

Dr. Jin Soo Lee 韓国がんセンター 総長
Dr. Ann Chao アメリカNCI北京事務所
Dr. Patrick Johnston Queen's University Belfast（英） 医学部長
Dr. Bruce A. Chabner マサチューセッツ総合病院



シンポジウムでの議論を踏まえ、企画戦略局において秋頃を目途に「今後の国立がん研究センターのあり方」をとりまとめ理事長に報告

議論すべき主な論点

1. がんの解明と発症予防・早期発見

- ・NCCの果たすべき役割（NCCしかできない研究とは何か、NCCが行うべき研究とは何か）等

2. 全国に先駆けて先駆的な診療を行う

- ・NCCの果たすべき役割（NCCしかできない診療に特化すべきか）
- ・ハイボリュームの必要性 等

3. 全国で最も質の高い治験、臨床研究を実施する

- ・実施すべき治験、臨床研究の範囲
- ・実施すべき臨床試験のフェーズ 等

4. 全国からがんに関する情報が集中し、それらを整理・分析して全国に発信する

- ・情報発信の内容（情報センターによる現行の情報提供内容に加えて、どのような情報を提供すべきか）
- ・情報発信のルート（現行の情報発信ルートをどのように評価し、その拡充をどのように進めるのか）等

5. 人材の育成・確保

- ・職種ごとのキャリアパスのオーバーホール 等

6. 医師、看護師、研究者等がん医療、研究に従事する人材を教育し、全国に供給する

- ・各職種その他施設との交流をどのような形で進めるべきか 等

7. 広報戦略

- ・NCCが優れた医療・研究を行っていることをPRするためには、どのようなポイントをどのようなターゲットにどのような方法で広報すべきか 等

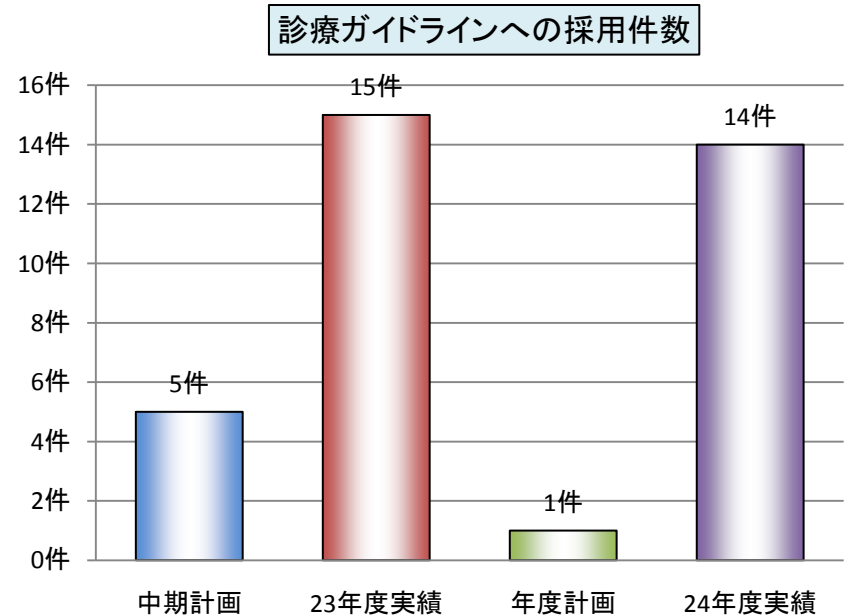
8. 国際戦略

- ・欧米との交流
- ・アジア諸国等発展途上国への国際貢献 等

【数値目標の達成状況（評価項目1）】

○臨床試験の診療ガイドラインへの採用件数

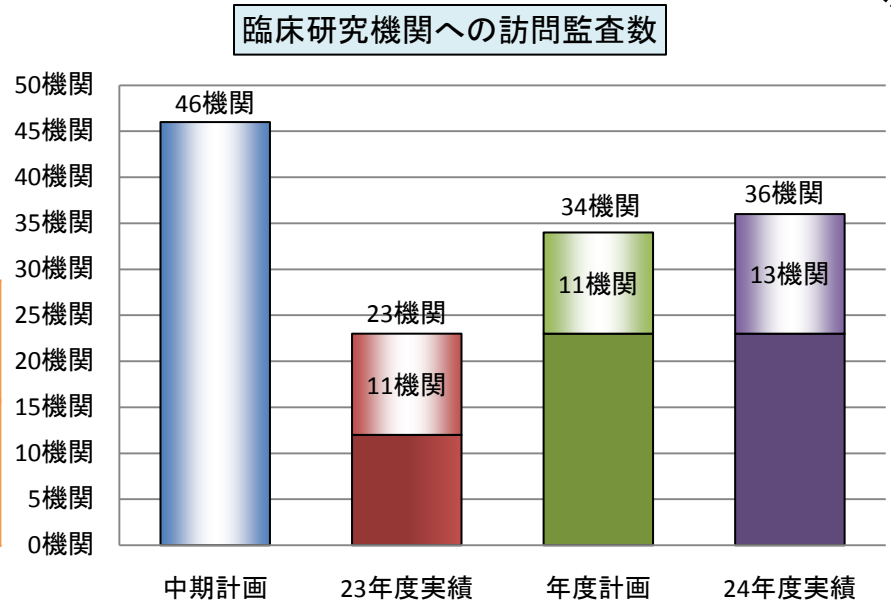
中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
5件以上	15件	1件	14件



【数値目標の達成状況（評価項目1）】

○臨床研究機関への訪問監査数

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
46機関以上	11機関 (23機関)	11機関以上 (34機関以上)	13機関 (36機関)



※()内は中期計画期間内の合計訪問監査数

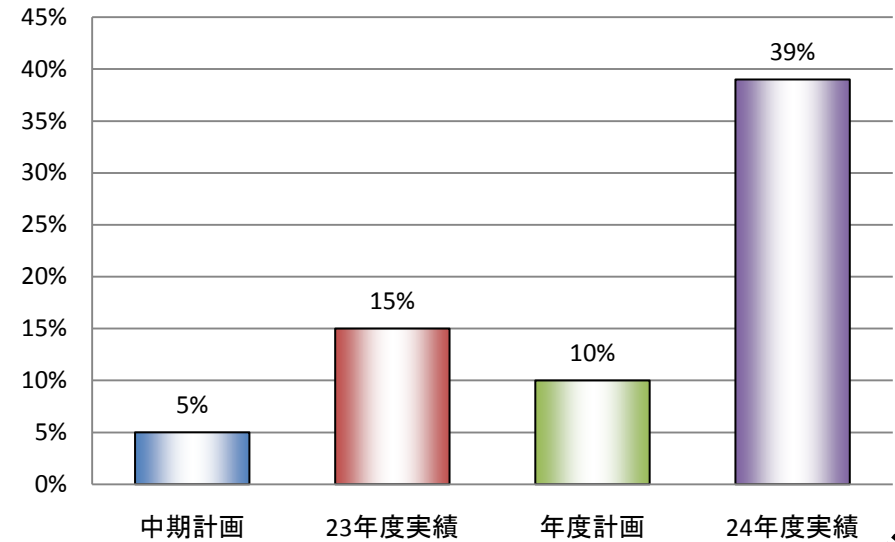
【数値目標の達成状況（評価項目1）】

○共同研究件数(対21年度比)

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
5%以上増 (142件)	15%増 (155件)	10%以上増 (149件)	39%増 (188件)

※21年度件数：135件

共同研究数



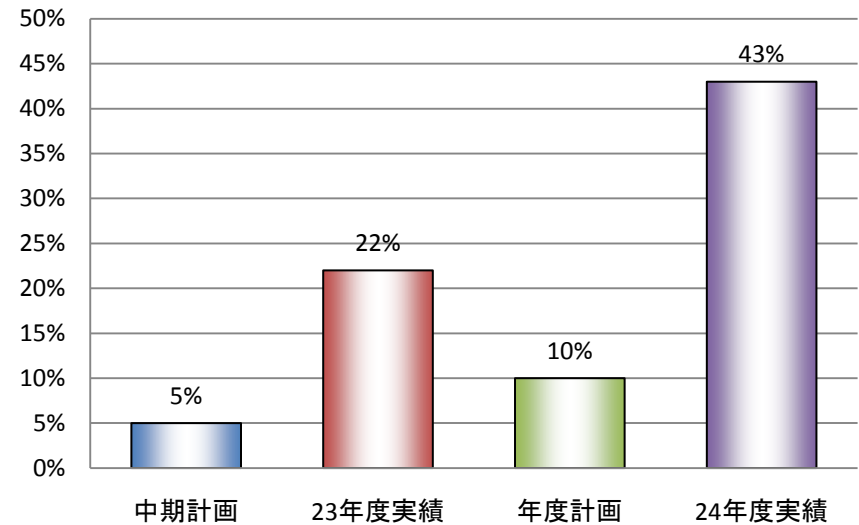
【数値目標の達成状況（評価項目1）】

○治験実施件数(対21年度比)

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
5%以上増 (269件)	22%増 (313件)	10%以上増 (282件)	43%増 (366件)

※21年度件数：256件

治験実施件数



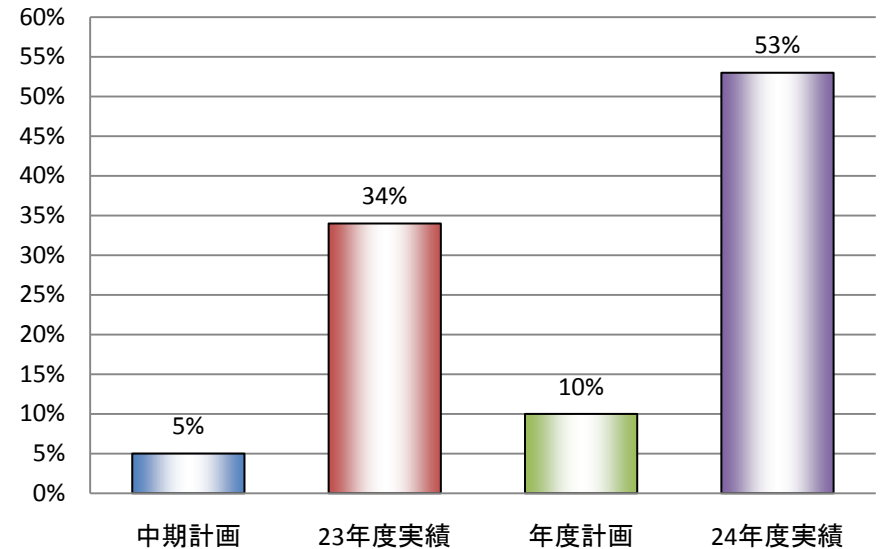
【数値目標の達成状況（評価項目1）】

○国際共同治験実施件数(対21年度比)

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
5%以上増 (103件)	34%増 (131件)	10%以上増 (108件)	53%増 (150件)

※21年度件数：98件

国際共同治験実施件数

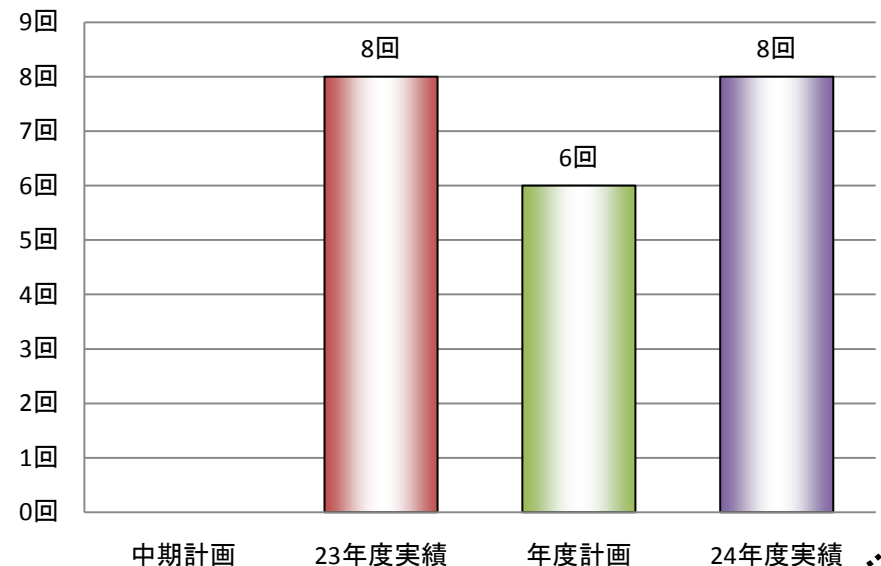


【数値目標の達成状況（評価項目1）】

○リサーチ・カンファレンスの開催数

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
-	8回	6回以上	8回

リサーチ・カンファレンスの開催数



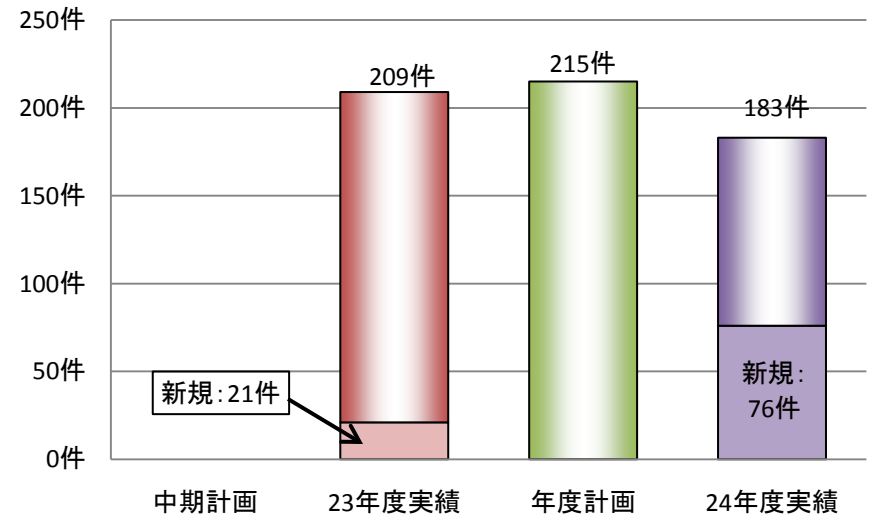
【数値目標の達成状況（評価項目1）】

○基礎研究部門と臨床研究部門の共同研究件数

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
-	209件 (21件)	対前年度 3%増 215件	183件 (76件)

※()内は新規許可件数

基礎研究部門と臨床研究部門の共同研究件数

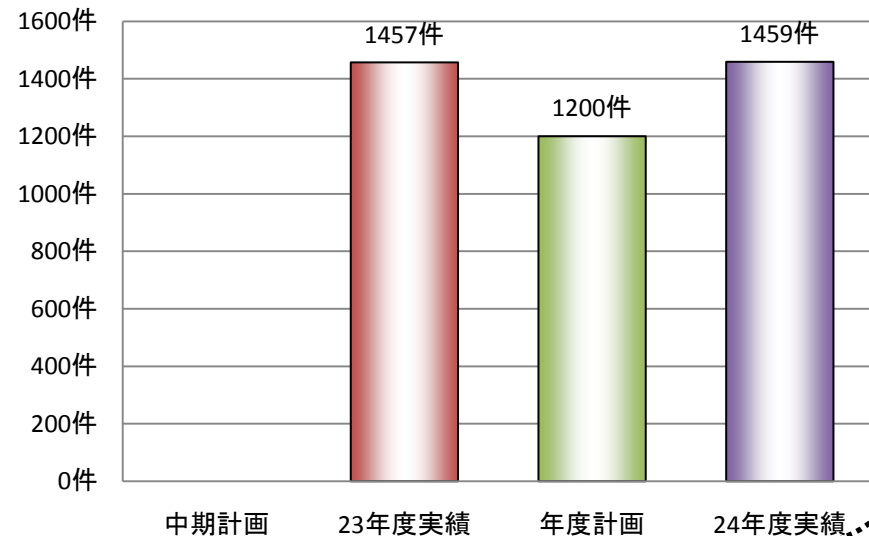


【数値目標の達成状況（評価項目1）】

○手術検体の新規保存件数

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
-	1,457件	1,200件	1,459件

手術検体の新規保存件数

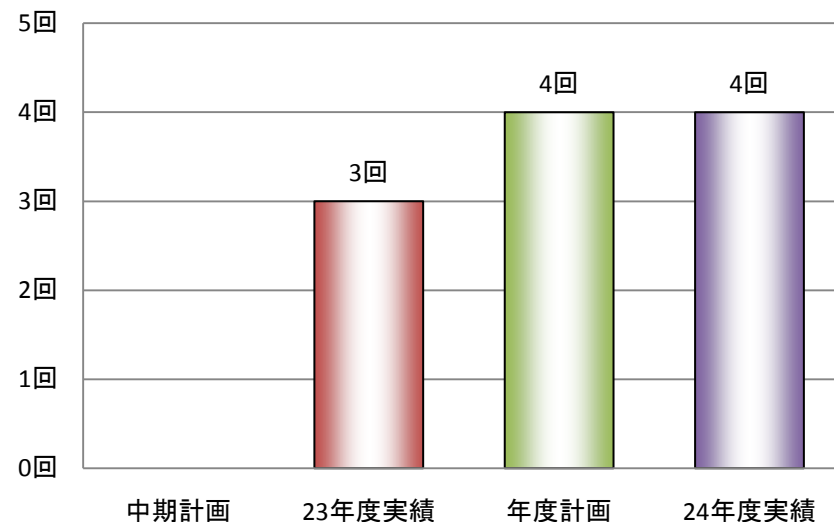


【数値目標の達成状況（評価項目1）】

○研究者等に対する知的財産セミナー開催数

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
-	3回	4回以上	4回

研究者等に対する知的財産セミナー開催数

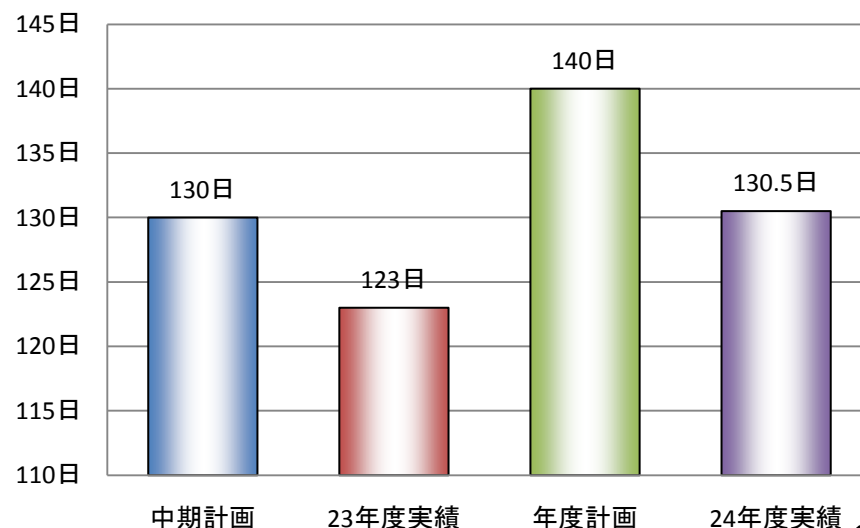


【数値目標の達成状況（評価項目2）】

○治験申請から症例登録(First patient in)までの期間

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
平均 130日以内	平均 123日	平均 140日以内	平均 130.5日

治験申請から症例登録(First patient in)までの期間



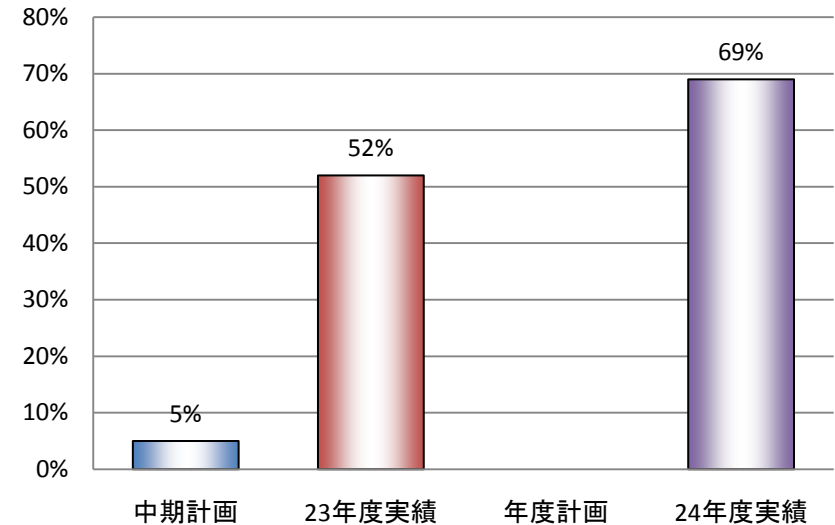
【数値目標の達成状況（評価項目3）】

○臨床研究及び治験の実施件数(対21年度比)

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
5%以上増 (877件)	52%増 (1,269件)	-	69%増 (1,411件)

※21年度件数：835件

臨床研究及び治験の実施件数(合計数)

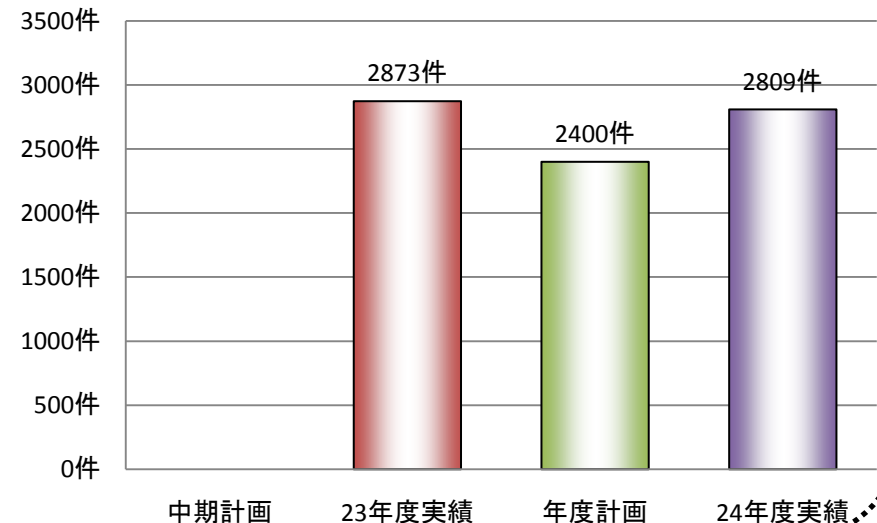


【数値目標の達成状況（評価項目5）】

○がん相談対話外来を含めた
セカンドオピニオン実施件数

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
-	2,873件	2,400件 以上	2,809件

がん相談対話外来を含めた
セカンドオピニオンの実施件数

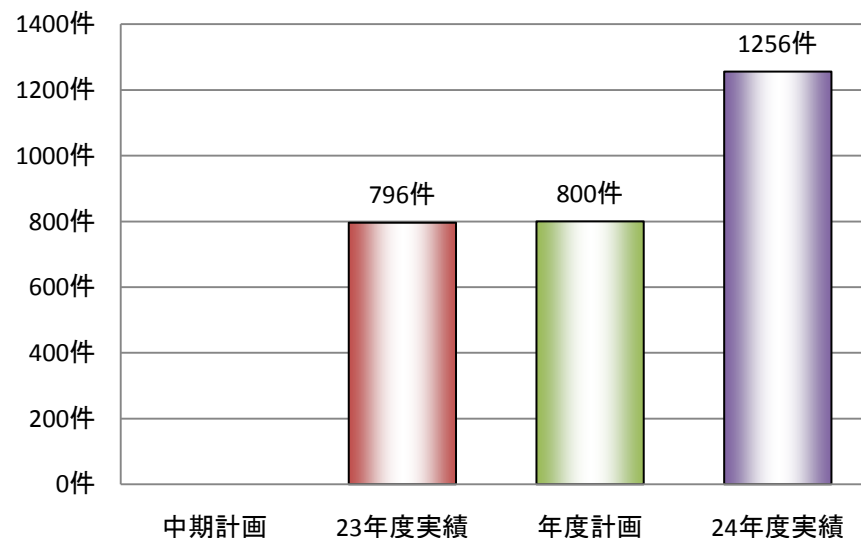


【数値目標の達成状況（評価項目5）】

○栄養サポートチーム活動実施件数

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
-	796件	800件以上	1,256件

栄養サポートチーム活動実施件数

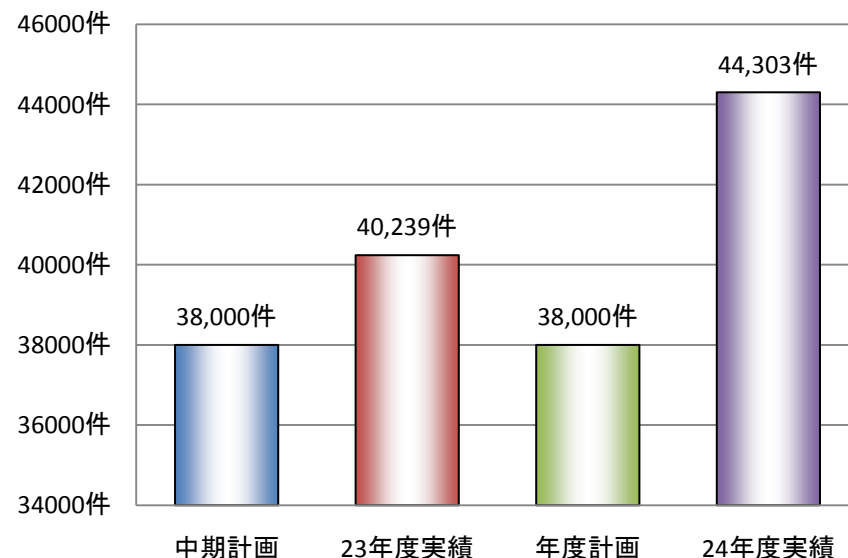


【数値目標の達成状況（評価項目5）】

○外来化学療法実施件数

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
38,000件	40,239件	38,000件以上	44,303件

外来化学療法実施数

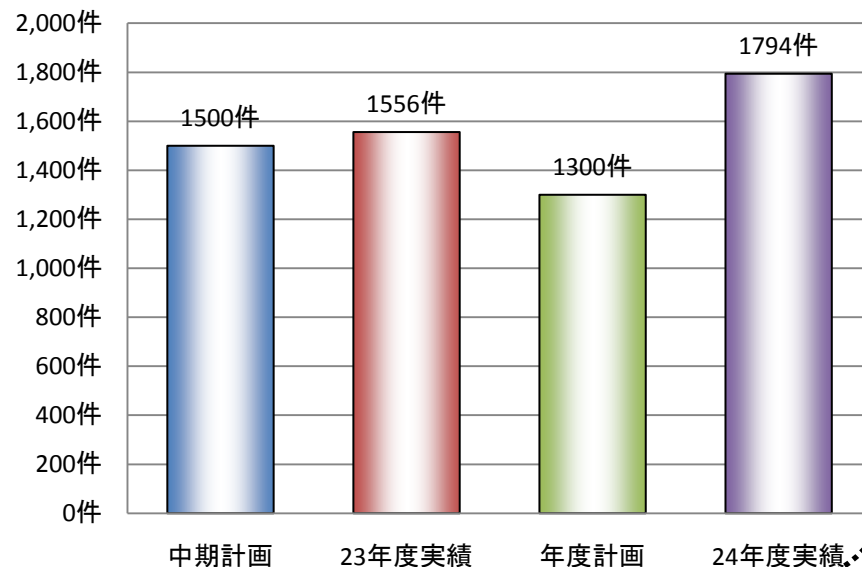


【数値目標の達成状況（評価項目6）】

○緩和ケアチームの関わる症例数

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
1,500件 以上	1,556件	1,300件 以上	1,794件

緩和ケアチームの関わる症例数

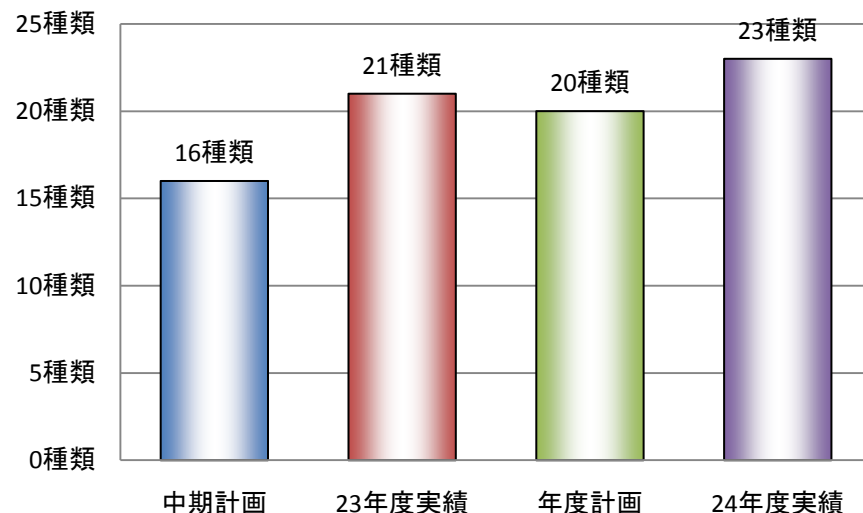


【数値目標の達成状況（評価項目7）】

○NCC外の医療従事者を対象とした研修プログラムの提供数

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
16種類 以上	21種類	20種類 以上	23種類

NCC外の医療従事者を対象とした
研修プログラムの提供数

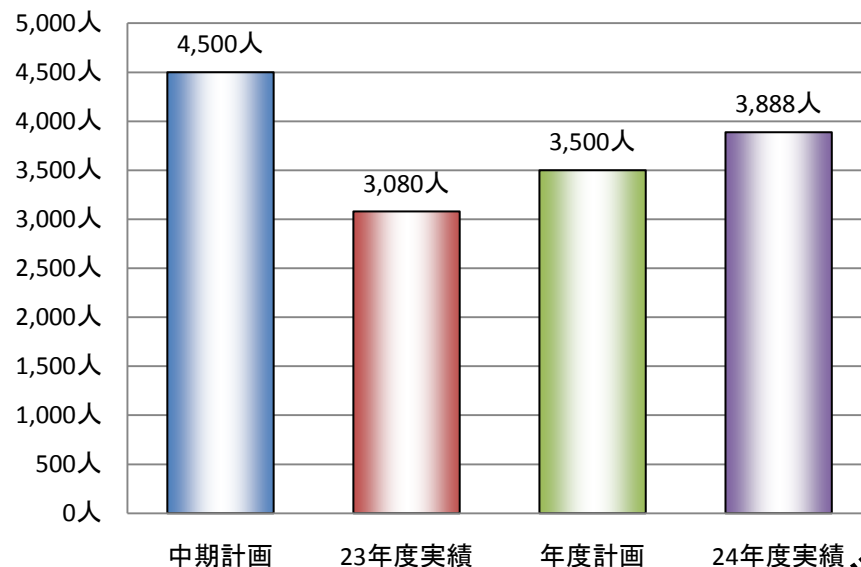


【数値目標の達成状況（評価項目7）】

○研修プログラムの延べ受講者数 （年度の受講者数）

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
4,500人 以上	3,080人 (654人)	3,500人 以上	3,888人 (808人)

研修プログラムの延べ受講者数

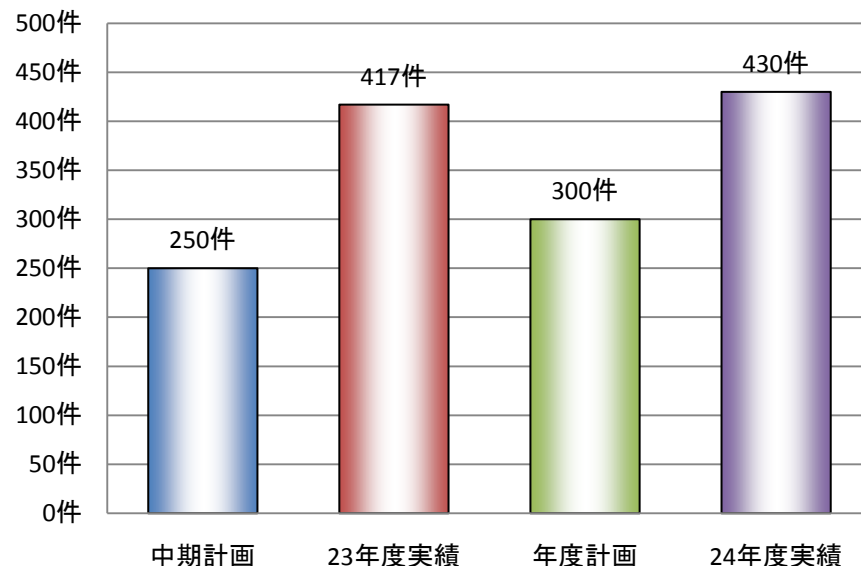


【数値目標の達成状況（評価項目8）】

○病理診断コンサルテーションの件数

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
250件 以上	417件	300件以上	430件

病理診断コンサルテーションの件数



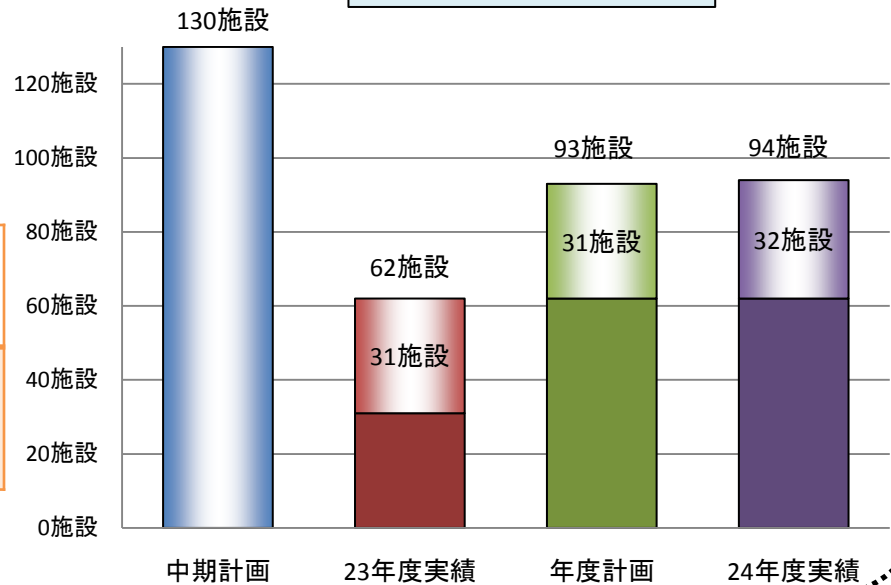
【数値目標の達成状況（評価項目8）】

○院内がん登録実地調査数

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
全都道府県 130施設 以上	9県31施設 (62施設)	10県31施設 以上 (93施設以上)	10県32施設 (94施設)

※()内は年度計画期間内の合計調査施設数

院内がん登録実地調査数



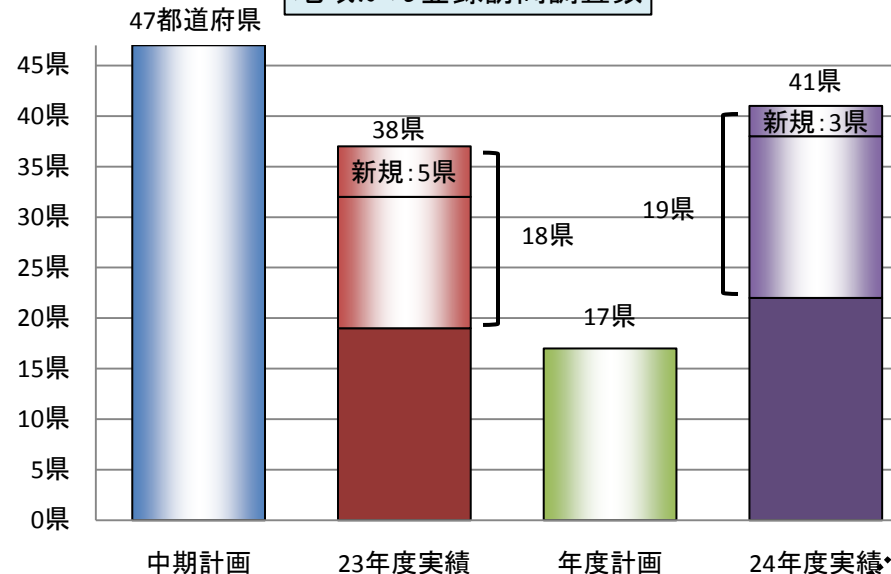
【数値目標の達成状況（評価項目8）】

○地域がん登録訪問調査数

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
47 都道府県	18県 (38県)	17県以上	19県 (41県)

※()内は年度計画期間内の合計調査県数

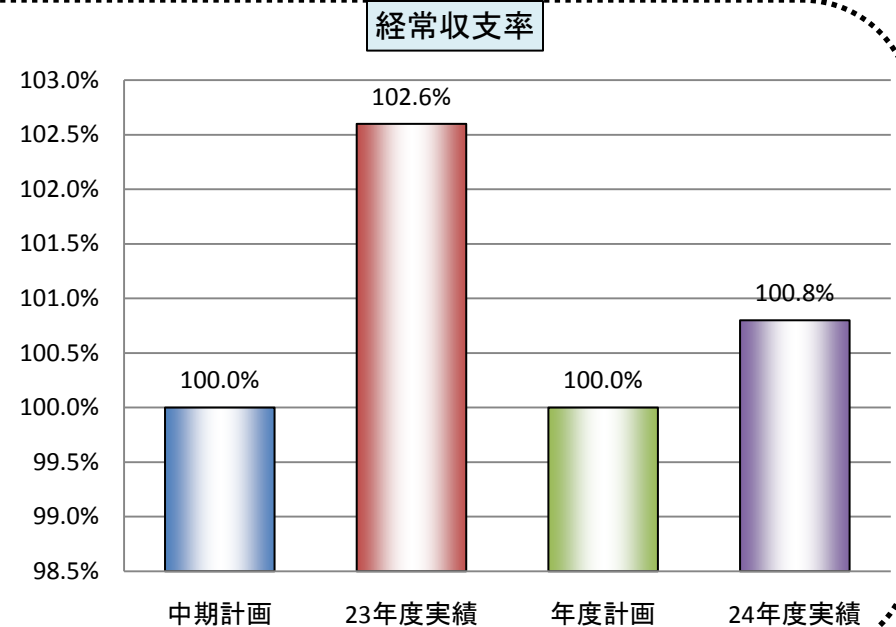
地域がん登録訪問調査数



【数値目標の達成状況（評価項目11）】

○経常収支率

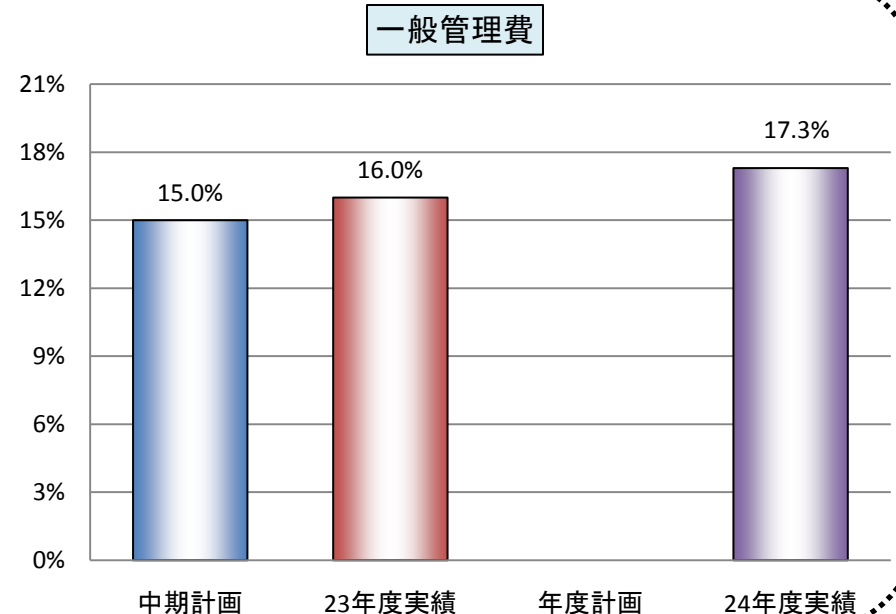
中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
100%以上	102.6%	100%以上	100.8%



【数値目標の達成状況（評価項目11）】

○一般管理費の削減率

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
15%以上	16.0%	-	17.3%

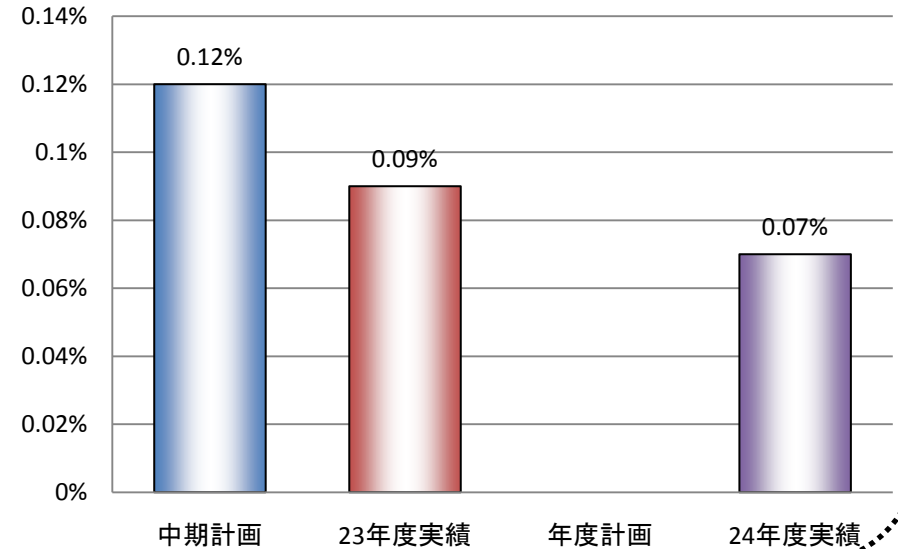


【数値目標の達成状況（評価項目11）】

○医業未収金比率

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
0.12%以下	0.09%	-	0.07%

医業未収金

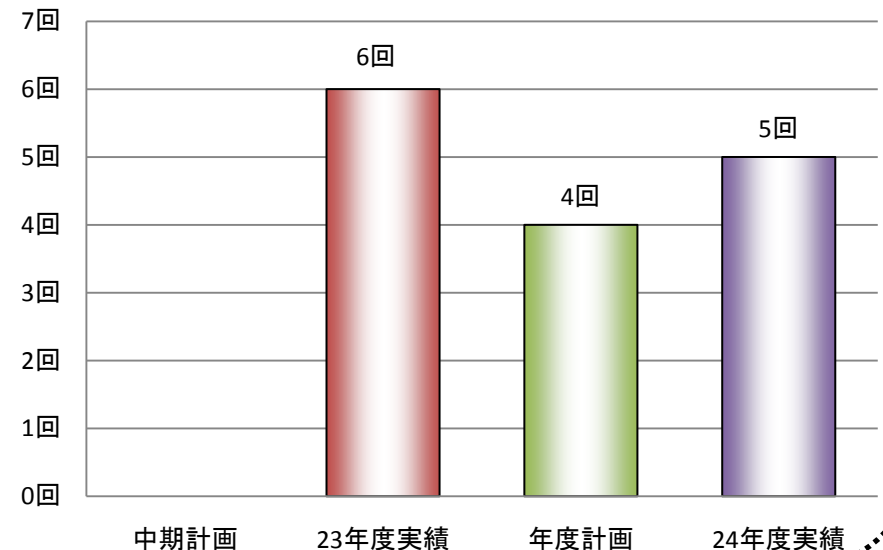


【数値目標の達成状況（評価項目11）】

○事務職員を対象にした研修会開催数

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
-	6回	4回	5回

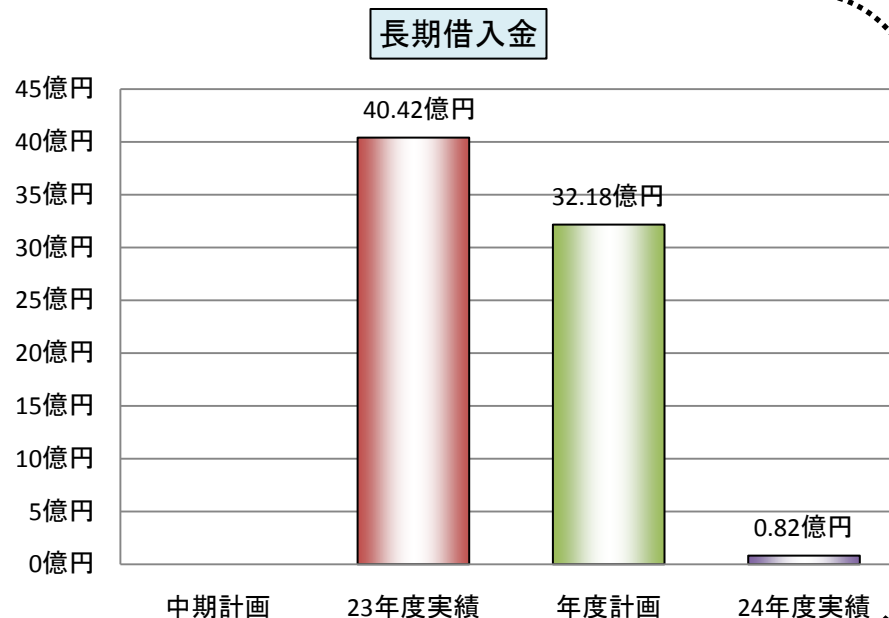
事務職員を対象にした研修



【数値目標の達成状況（評価項目13）】

○長期借入金の借入額

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
-	40.42億円	32.18億円 以内	0.82億円



【数値目標の達成状況（評価項目13）】

○短期借入金の借入額

中期計画	23年度実績	年度計画	24年度実績
-	なし	34億円 以内	なし

